SAKURA MARCHÉ

感謝を込めて

今年のさくらマルシェは２年ぶりに保護者の方の笑い声が響く開催となり、こどもたちもそんな大人たちの表情を見て、いちだんと素敵な笑顔を浮かべていました。

今年のテーマは「秋の収穫祭」
園庭は秋の香りと彩につつまれ、とても穏やかであたたかな一日でした。

赤い葉っぱや、橙色の葉っぱ、ギザギザの葉っぱや虫食いの葉っぱ
一枚一枚、手に取ると色や形が違って面白い
そんな葉っぱが集まるともっときれいな紅葉になる。

バイオリンの生演奏や絵の具スタンプ、お魚の解体ショーに親子ダンス、朗読会にお花のブーケ、おいしいお料理…
色とりどりの葉っぱに負けないくらい、多彩な大人たちの本気の姿をこどもたちも肌で感じたことと思います。
こどもたちに蒔いたこの種がどんな花を咲かせるのか、こどもたちのこれからがとても楽しみです。

また、全力でマルシェを盛り上げてくださった和笑輪プロジェクトの保護者の皆様、こども小物にたくさんご協力をいただいた皆様に改めまして心より感謝を申し上げます。

来年のマルシェもこどもたちのきらきらと輝く瞳が見られますように…

子どもたちにさくらマルシェの話をすると、「え？おかいものできるの？」「はやくいきたい！」「なにうってるの？」と興味津々！落ち葉やどんぐりを使ってお財布作りをしたり、保育者とマルシェの話をして当日への期待を高めていきました！

楽しみに迎えた当日。おうちの人と嬉しそうに登園し、目を輝かせる子どもたち。一方で、いつもと違う雰囲気に緊張気味な姿もありました。どんなお店があるのかよく見ながらやりたいことをどんどん見つけ、お買い物したり、ゲームをしたり存分にマルシェを楽しんでいるようでした。

ゆり組さんは初めてのマルシェ。最初は緊張してなかなかやりたいことに踏み出せない子どもたちも、お家の人がそばにいる安心感を感じながら徐々に「これください！」「これやりたいです！」と、どんどん自分の気持ちを口にだし、楽しむことができました。また、自分の思いを勇気を出して伝えたことで“欲しいものを買えた！、ゲームができた〞という経験は子ども達にとって大きな自信になったと思います。
これからも担任以外の保育者やお友だち、地域の方に温かく見守られている安心感を感じながら自分の世界を広げていって欲しいと願っています！！

さくらマルシェ

～秋の収穫祭～

ゆり

昨年のマルシェの記憶もあり、あの楽しい1日がまた来ることを楽しみにしていたかえで組。今年は、自分で好きな柄の折り紙を選んでお財布を作ったり、園庭に飾るガーランドを作るお手伝いをしたりとマルシェを一緒に作っていく経験をしました。

当日は、お家の人やお友だちと一緒に『デパートでお買い物して、何か素敵なもの作りたいな、ゲームもやりたい！！』『あそこにエアホッケーあったよ！、お花あそこでやってるよ！』などと声をかけあって、思う存分楽しむ姿がみられました。

やりたいことを自分で見つける力や楽しそう！の雰囲気を感じとって進んでいこうとする力がしっかり身に付いてきたなと改めて成長を感じると共に、『これください。』『ありがとう』などと相手と言葉を交わす大切さや必要性を実体験することが出来たさくらマルシェでした。
子どもたちの中にはあの楽しかった経験を形にしようとする姿も出てきています！ひとりひとりの中に芽生えた思いを大切にあたためていきたいと思います。

さくらマルシェ

～秋の収穫祭～

かえで

マルシェで使うお店屋さんの看板作成をしおんさんにお願いされたと子どもたちに伝えると、「いいよ！だってしおんさんだもん！」とこども園の一員として行事に積極的に関わる姿が見られました。
看板を作ったり、お財布を作ったりしながら、今年のマルシェではどんなお店があるんだろう、どんなことをやるのかな？楽しみ！と期待を膨らませていました。

マルシェの参加時間が長いことから「マルシェ券2つ使ったから残りはフラワーアレンジメントで使うことにする！」「12:30からデパートで剣が売られるからマルシェ券とっておく！」などと6枚のマルシェ券の使い方をよーく考えて活動していましたね。また、フリーパスを思う存分使って楽しむ姿も沢山見られました。
さわらの解体ショー、朗読音楽会、親子でダンスなどのさくらステージでは、おもしろい！楽しい！気持ちが溢れていました。

いつもとは違う園庭の雰囲気やたくさんのブースやステージなどなど
大人の本気の力を肌で感じ、”楽しい！””面白い！””すごい！””やってみたい！”と
たくさん心を動かしていた子どもたちです。
この楽しい思い出を今度は自分たちで！と活動が始まっているところです。
どんな遊びになったのかはおたよりでお伝えしていきます。楽しみですね！

さくらマルシェ
～秋の収穫祭～

しおん